

財団法人吹田市文化振興事業団寄附行為

制 定 昭和59年11月1日

最近改正 平成18年3月31日

第1章 総 則

（名称）

第1条 この法人は、財団法人吹田市文化振興事業団（以下「事業団」という。）という。

（事務所）

第2条 事業団は、事務所を大阪府吹田市泉町2丁目29番1号吹田市文化会館内に置く。

（目的）

第3条 事業団は、市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とする。

（事業）

第4条 事業団は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 音楽、舞踊、演劇、美術その他文化活動に関すること
- (2) 文化情報誌の発行及び情報の収集に関すること
- (3) 吹田市文化会館等の管理運営に関すること
- (4) その他目的を達成するために必要な事業

第2章 資産、会計及び事業計画

（資産の構成）

第5条 事業団の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 資産から生ずる収入
- (3) 事業に伴う収入
- (4) 寄附金品
- (5) その他の収入

（資産の種別）

第6条 事業団の資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
- (2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
- (3) 理事会で基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は、基本財産以外の資産とする。

(基本財産の処分の制限)

第7条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、事業団の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決を経て、かつ、大阪府教育委員会(以下「府教育委員会」という。)の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

(資産の管理)

第8条 資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決により定める。

2 基本財産のうち、現金は、郵便官署若しくは確実な金融機関に預け入れ、信託会社に信託し、又は国債、公債その他確実な有価証券にかえて保管しなければならない。

(経費の支弁)

第9条 事業団の経費は、運用財産をもって支弁する。

(事業計画及び予算)

第10条 事業団の事業計画及び予算は、理事長が作成し、毎会計年度開始前に理事会の議決を経て、府教育委員会に届け出なければならない。これらを変更するときも同様とする。

(暫定予算)

第11条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ、収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業状況報告及び決算)

第12条 理事長は、毎会計年度終了後3月以内に、事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録及び財産増減事由書を作成し、監事の監査を経て、理事会の承認を得た後、府教育委員会に報告しなければならない。

2 事業団の収支決算に剰余金があるときは、理事会の議決を経て、その一部若しくは全部を基本財産に繰り入れ、又は翌年度に繰り越すものとする。

(長期借入金)

第13条 事業団が借入れをしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会の議決を経て、府教育委員会の承認を受けなければならない。

(新たな義務の負担等)

第14条 第7条ただし書及び前条の規定に該当する場合並びに予算で定めるものを除くほか、事業団が新たに義務の負担をし、又は権利を放棄しようとするときは、これらのうち、重要なものについては、理事会において、理事現在数の3分の2以上の議決を経なければならない。

(会計年度)

第15条 事業団の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第3章 役員

(種別及び選任)

第16条 事業団に次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上15名以内
 - (2) 監事 2名
- 2 理事のうち、1名を理事長、2名を副理事長とし、各1名の専務理事及び常務理事を置くことができる。
- 3 理事及び監事は、評議員会において選任する。
- 4 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事は、理事会において、理事の互選により定める。
- 5 理事、監事及び評議員は、相互にこれを兼ねることができない。
- 6 理事1名とその親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事現在数の3分の1を超えてはならない。
- 7 監事は、理事及び事務局の職員と兼ねることなく、又理事との間及び監事相互の間に親族その他特別の関係にある者であってはならない。

(職務)

第17条 理事長は、事業団を代表し、業務を統括する。

- 2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代理する。
- 3 専務理事は、理事長の命を受け、業務を掌理する。
- 4 常務理事は、理事長の命を受け、日常の業務を処理する。
- 5 理事は、理事会を組織して、事業団の業務を議決し、執行する。
- 6 監事は、次の職務を行う。
 - (1) 事業団の財産の状況を監査すること。
 - (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
 - (3) 財産の状況又は業務の執行について、不整の事実を発見したときは、これを理事会、評議員会又は府教育委員会に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会又は評議員会を招集すること。

(任期)

第18条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(解任)

第19条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会及び評議員会においてそれ

ぞれ、理事現在数及び評議員現在数の3分の2以上の議決により、理事長がこれを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。
(役員の報酬等)

第20条 役員は、無給とする。ただし、常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 報酬の額については、理事会の議決を経て、理事長が定める。
- 3 役員には、別に定めるところにより、費用弁償を支給することができる。

第4章 理事会

(設置及び組織)

第21条 事業団に理事会を置く。

- 2 理事会は、理事をもって組織する。
(権能)

第22条 理事会は、この寄附行為で別に定めるもののほか、事業団の運営に関する重要な事項を議決する。

(招集)

第23条 理事会は、毎年2回理事長が招集する。ただし、理事長が必要と認めた場合又は理事現在数の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求されたときは、理事長は、その請求があった日から14日以内に臨時理事会を招集しなければならない。

- 2 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって通知しなければならない。
(議長)

第24条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定足数)

第25条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第26条 理事会の議事は、この寄附行為に別に定めるもののほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第27条 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、その理事は出席したものとみなす。

2 理事長は、緊急を要する事項又は軽易な事項については、書面又は持ち回りの方法により全理事の賛否を求め、理事現在数の過半数の同意をもって理事会の議決に代えることができる。

(議事録)

第28条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 理事現在数
 - (3) 出席した理事の数及び氏名(書面表決者及び表決委任者についてはその旨を付記すること。)
 - (4) 議決事項
 - (5) 議事の経過の概要及びその結果
 - (6) 議事録署名人の選任に関する件
- 2 議事録には、その会議において、出席理事のなかから選任された議事録署名人2名以上が、議長とともに署名押印をしなければならない。

第5章 評議員及び評議員会

(評議員)

第29条 事業団に評議員17名以上25名以内を置く。

- 2 評議員は、理事会で選出し、理事長がこれを委嘱する。
- 3 評議員は、役員を兼ねることができない。
- 4 第16条第6項、第18条、第19条並びに第20条第1項本文及び第3項の規定は、評議員に準用する。この場合において、第16条第6項中「理事」とあり、第18条、第19条並びに第20条第1項本文及び第3項中「役員」とあるのは、「評議員」と読み替えるものとする。

(評議員の職務)

第30条 評議員は、評議員会を組織して、この寄附行為に定める事項を行うほか、理事会の諮問に応じ理事長に対し、必要と認める事項について助言する。

(評議員会)

第31条 次に掲げる事項については、理事会において、あらかじめ評議員会の意見を聴かななければならない。

- (1) 事業計画及び予算についての事項
- (2) 事業報告及び決算についての事項
- (3) 基本財産についての事項
- (4) 長期借入金についての事項

(5) 第1号、第3号及び前号に定めるものを除くほか、新たな義務の負担及び権利の放棄についての事項

(6) その他事業団の業務に関する重要事項で、理事会において必要と認めた事項

2 第23条、第25条から第28条までの規定は、評議員会に準用する。この場合において、これらの規定中「理事」とあるのは「評議員」と、「理事会」とあるのは「評議員会」と読み替えるものとする。

3 前各号に定めるもののほか、評議員会の運営に関し必要な事項は、理事会で定める。
(議長)

第32条 評議員会の議長は、会議の都度評議員会において、出席評議員の互選により定める。

第6章 事務局

(設置)

第33条 事業団の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局の職員は、理事長が任免し、有給とする。

3 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第7章 寄附行為の変更及び解散

(寄附行為の変更)

第34条 この寄附行為は、理事会及び評議員会において、理事現在数及び評議員現在数の各々3分の2以上の議決を経て、府教育委員会の認可を得なければ変更することができない。

(解散及び残余財産の処分)

第35条 事業団は、民法(明治29年法律第89号)第68条第1項第2号から第4号の規定によるほか、理事会及び評議員会において、理事現在数及び評議員現在数の各々4分の3以上の議決を経て、府教育委員会の許可を受けなければ解散することができない。

2 事業団の解散に伴う残余財産は、理事会及び評議員会において、理事現在数及び評議員現在数の各々4分の3以上の議決を経て、かつ、府教育委員会の許可を受けて、地方公共団体又は事業団と類似の目的をもつ公益法人に寄附するものとする。

第8章 補則

(書類及び帳簿の備付け等)

第36条 事業団は、次の書類及び帳簿を備えなければならない。ただし、他の法令により、これらに代わる書類及び帳簿を備えたときは、この限りでない。

- (1) 寄附行為
- (2) 役員、評議員及び事務局の職員の名簿及び履歴書
- (3) 財産目録
- (4) 資産台帳及び負債台帳
- (5) 収入支出に関する帳簿及び証拠書類
- (6) 理事会及び評議員会の議事に関する書類
- (7) 処務日誌
- (8) 官公署往復書類
- (9) その他必要な書類及び帳簿

2 前項第1号から第4号及び第6号の書類及び帳簿は永久、第5号の書類及び帳簿は10年以上、第7号から第9号までの書類及び帳簿は1年以上保存しなければならない。

(委任)

第37条 この寄附行為の施行について必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この寄附行為は、事業団の設立につき、府教育委員会の許可のあった日から施行する。
- 2 事業団の設立当初の役員は、第16条第3項及び第4項の規定にかかわらず、別紙役員名簿のとおりとし、その任期は第18条第1項の規定にかかわらず、昭和60年3月31日までとする。
- 3 事業団の設立当初の事業計画及び予算は、第10条の規定にかかわらず、発起人会の定めるところによる。
- 4 事業団の設立当初の会計年度は、第15条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から昭和60年3月31日までとする。

附 則 (H18.3.31寄付行為第2号)

この寄付行為は、大阪府教育委員会の認可のあった日から施行する。

役員名簿

平成23年9月28日現在

役職名	氏名
理事長	荒起一夫
副理事長	山中久徳
副理事長	田口省一
常務理事	古矢直樹
理事	安達憲夫
理事	大内祥子
理事	金森重裕
理事	河内幸枝
理事	木津川計
理事	寺谷一紀
理事	村上克一郎
監事	中川孝基
監事	原田憲

(敬称略)

平成 22 年度 事業報告書

平成 22 年度、吹田市文化会館は開館 25 周年を迎え、また吹田市は市制施行 70 周年を迎えました。この節目にあたり、事業団としましては、これまでの 25 年間の踏まえ、引き続き文化会館の設置目的を達成し吹田市の総合的な文化施策の中での役割を積極的・自律的に担い、かつ市民文化・地域文化の振興と創造・発信の拠点として多くの市民が集うにぎわいの場、参画・協働の場を創出するために以下の事業を行いました。

1. 市民の芸術文化の振興に寄与するため、良質の鑑賞型事業や市民参加型事業、地元のアーティストの紹介・支援事業、プロデュース能力を活かした発信型事業など様々な形態による自主文化事業を行いました。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
平成 22 年 (2010 年) 4 月 10 日(土)	小ホール	ワールドミュージックシリーズ 2010 Vol.103 「スコットランドの伝承音楽より」	英国北部スコットランドの伝統音楽を紹介、民話の語りを交えておくるコンサート。 出演：シャナヒー ほか
4 月 11 日 (日)	大ホール	バレエ & ダンス フェスティバル in スイタ 2010	一般公募による 197 組の出演者が、クラシックバレエのソロやグラン・パ・ド・ドウ、創作舞踊などを発表。
4 月 16 日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「若草物語」	1949 年アメリカ映画 (カラー・字幕版) 監督：マーヴィン・ルロイ 出演：ジューン・アリソン ほか
5 月 1 日 (土)	大ホール	和太鼓松村組 吹田公演 2010 大地～心の鼓動～	和太鼓にマリンバやオカリナなどを組み合わせる独自のスタイル。海外でも高い評価を得ている松村組のパフォーマンス。
5 月 15 日(土) 16 日(日)	中ホール	関西歌劇団 創作・名作オペラシリーズ 「フィガロの結婚」	関西歌劇団がおくるオペラ作品の傑作、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」。 字幕付・イタリア語上演。
5 月 17 日 (月)	中ホール	桂米朝一門会	上方落語界初の人間国宝・桂米朝に磨き抜かれた一門の面々による話芸。 出演：桂ざこば、桂都丸 ほか
5 月 21 日 (金)	中ホール	全国音楽ネットワーク協議会イベント 「江戸家猫八と愉快的仲間たち」 「大森ヒデノリの北政音楽コンサート」	全国音楽ホールネットワーク協議会の総会・シンポジウムの一環として開催するプレゼンテーション・アトラクション企画。
5 月 21 日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「祇園囃子」	1953 年大映京都 監督：溝口健二 出演：小暮実千代、若尾文子 ほか
6 月 11 日(金) ～13 日(日)	中ホール	音楽劇 C'est la vie ～心をいやす生命の水～	元宝塚歌劇団、OSK 日本歌劇団のメンバーたちが競演。エンタテインメントあふれる音楽劇。
6 月 12 日 (土)	大ホール	天童よしみコンサート	歌唱力の高さと親しみのあるキャラクターで不動の人気を誇る演歌歌手・天童よしみのコンサート。
6 月 12 日 (土)	小ホール	ワールドミュージックシリーズ 2010 Vol.104 「奄美の島唄」	奄美諸島の民謡・島唄の魅力を三線や打楽器とともに紹介。 出演：小林成芳 ほか

事業日	場 所	事 業 名	内 容
6月14日 (月)	大ホール	平成22年度 歌舞伎鑑賞教室	解説「歌舞伎へのご案内」 演目「恋飛脚大和往来」 出演：片岡我當 ほか
6月18日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「断崖」	1941年アメリカ映画(カラー・字幕版) 監督：アルフレッド・ヒッチコック 出演：ジョーン・フォンテイン ほか
6月27日 (日)	大ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 「白鳥の湖2 3幕+バレエコンサート」	吹田市出身で牧阿佐美バレエ団プリマの青山季可を主役に、プロとオーディションで選ばれたアマチュア・バレリーナが共演。
7月16日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「赤線地帯」	1956年大映京都 監督：溝口健二 出演：京マチ子、若尾文子 ほか
7月24日 (土)	中ホール	グレートジャズシリーズ IN 吹田 VOL.2	吹田のジャズ・プレイヤーを中心に、関西が誇る実力派ミュージシャンが集結。 出演：古谷充、大塚善章、宮本直介 ほか
7月26日(月) 27日(火)	中ホール 他	第41回 幼児の劇あそび夏季講習会 関西集会	夏休み恒例の劇あそび関西集会。 2日間にわたり、劇の制作などの講習会や分科会を実施。
8月8日 (日)	大ホール	市民平和のつどい2010 現代版組踊絵巻 「鬼鷲～琉球王尚巴志伝」	音楽・舞踊・台詞で構成される琉球古典劇「組踊」。吹田市内の子どもたちも参加して繰り広げる琉球歴史ロマン。
8月14日 (土)	小ホール	ワールドミュージックシリーズ2010 Vol.105 「カントリー&ウエスタンの夕べ」	伝統的なアメリカ民謡からカントリー&ウエスタンの最新ナンバーまでを紹介。 出演：Sinner Joe's
8月20日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「地上より永遠に」	1953年アメリカ映画(モノクロ・字幕版) 監督：フレッド・ジンネマン 出演：バート・ランカスター ほか
8月27日(金) 28日(土)	小ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 「メイシアター人形劇フェスティバル」	「吹田人形劇コンクール」の金賞受賞作品やプロ劇団の上演、アマチュア人形劇団の未来を考えるシンポジウムなど。
9月1日 (水)	中ホール	桂米團治独演会	吹田市在住の落語家・五代目桂米團治の独演会。 出演：桂米團治、桂あさ吉、桂團治郎
9月9日 (木)	中ホール	上海の風 ～周琪 揚琴コンサート	中国民族楽器・揚琴奏者で上海出身の周琪が、落語家・桂春蝶をゲストに、開催中の上海万博の話も交えておくるコンサート。
9月17日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「新・男はつらいよ(第4作)」	1970年松竹 監督：小林俊一 出演：渥美清、倍賞千恵子 ほか

事業日	場 所	事 業 名	内 容
9月17日(金) ～20日(月)	展示室	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 ワールドミュージックシリーズスペシャル 「竹の楽器 ワンダーランド」	吹田が竹の名産地であったことにちなみ、 世界中の竹でできた楽器約200点を展示。 協力：大阪音楽大学音楽博物館
9月18日 (土)	中ホール	2010 備中神楽 IN SUITA	岡山県の伝統芸能で国指定重要無形民俗文化財の備中神楽の公演。物産展も同時開催。
9月18日 (土)	小ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 ワールドミュージックシリーズスペシャル 「楽器が語る 世界の人々、世界の自然」	豊富な音源、映像資料を紹介しながら音楽を巡る多様な人間の在り方について語る。 講師：西岡信雄（大阪音楽大学名誉教授）
9月18日(土) ～20日(月)	展示ロビー	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 ワールドミュージックシリーズスペシャル 「竹の楽器づくり体験コーナー」	展示中の竹の楽器を身近に体験できるよう竹の楽器をつくって楽しむコーナー。 協力：吹田まちづくり市民塾「竹遊び塾」
9月20日 (月)	中ホール ロビー	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 ワールドミュージックシリーズスペシャル 「おもしろ楽器を奏でてみよう」	動物を素材にした面白い楽器などの演奏を子どもに体験してもらうワークショップ。
9月20日 (月)	中ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 ワールドミュージックシリーズスペシャル 「シルクロードの音楽を訪ねて」	モンゴルとトルコの音楽を紹介。馬頭琴やサズなどの民族楽器を演奏。出演：マハバル・サウガゲレル、アポ&セファほか
10月1日 (金)	中ホール	メイ・ホームグラウンドシアター VOL.24 「神 英彰コンサート」	吹田市出身でシンガー、ダンサー、俳優と幅広く活躍する神英彰が、歌とダンスパフォーマンスでおくる華やかなコンサート。
10月6日 (水)	中ホール	メイシアターオペラ映画フェスティバル ～モーツァルト特選三大オペラ～ 「フィガロの結婚」	1975年ドイツ映画（字幕版） 監督：ジャン＝ピエール・ポネル 出演：ディートリヒ・フィッシャーほか
10月9日 (土)	小ホール	アラウンド・ザ・ワールドinクラシック 2010 「モーツァルトが愛した音と響きの美しさ」	フォルテピアノとオーボエで、18世紀当時の音色やテンポ、奏法の美しい響きを紹介。 出演：高田泰治、延原武春
10月12日 (火)	小ホール	木津川計の一人語り劇場 「無法松の一生」	雑誌「上方芸能」発行人として関西の芸能文化を論じる木津川計が、名作「無法松の一生」の芝居を解釈し批評しながら語る。
10月13日 (水)	中ホール	アリシア&ネストルフラメンコ舞踊団 情熱のフラメンコ！	スペイン国内外の数々のツアーで多くの観客を魅了してきた舞踊団の来日公演。
10月15日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「紳士協定」	1947年アメリカ映画（モノクロ・字幕版） 監督：エリア・カザン 出演：グレゴリー・ペックほか
10月23日 (土)	中ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 「記念シンポジウム」	基調講演・パネラー：平田オリザ パネラー：桂米團治、藤岡幸夫 コーディネーター：金森重裕

事業日	場 所	事 業 名	内 容
11月4日 (木)	中ホール	岸田國士小品選 「紙風船」「葉桜」「留守」	文学座の創設者のひとりで劇作家の故岸田國士の戯曲短編の中から傑作3作品を上演。 出演：音無美紀子、麻丘めぐみ ほか
11月5日 (金)	大ホール	吹田市制施行70周年記念 MIN-ON コンサート 「ANATA BOLIVIA コンサート」	ボリビアのフォルクローレ・グループ・ANTA BOLIVIA のコンサート。吹田市内の小学生を対象にした音楽鑑賞会。
11月5日 (金)	小ホール	メシアター演劇フェスティバル vol.24 劇団 EBIE	「ギィ・フォワシィ・シアター」 作：ギィ・フォワシィ 演出：弓澤玲子
11月10日 (水)	中ホール	メシアターオペラ映画フェスティバル ～モーツァルト特選三大オペラ～ 「ドン・ジョバンニ」	1978年フランス映画(字幕版) 監督：ジョゼフ・ロージー 出演：ルジエーロ・ライモンディー ほか
11月19日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メシアター・シネマ in 2010 「故郷」	1972年松竹 監督：山田洋次 出演：井川比佐志、倍賞千恵子 ほか
11月26日(金) 27日(土)	小ホール	劇団うららか 「ハロークリスマス」	家族で楽しめる演劇公演。青年と老女の恋の物語。 作・演出：白川明彦
12月2日(木) 3日(金)	小ホール	メシアター演劇フェスティバル vol.24 朗読工房	「九十九物語 VOL.12 家族」 ほか 演出：大橋文江
12月7日(火) 8日(水)	小ホール	実験劇場パート27 SPACE とりつくすたあ 「おもかげーそして空へ」	特攻隊員の孫が、時を超えて若き日の祖父に出会う、不思議な戦争体験を描く。 作・演出：木村玩
12月9日 (木)	中ホール	メシアターオペラ映画フェスティバル ～モーツァルト特選三大オペラ～ 「魔笛」	1975年スウェーデン映画(字幕版) 監督：イングマル・ベルイマン 出演：イルマ・ウッリラ ほか
12月11日 (土)	小ホール	アラウンド・ザ・ワールド in クラシック 2010 「大作曲家が遺したトランペットの響き」	4種類のトランペットの音色の違いを紹介しながらおくるトランペットの名曲集。 出演：上田仁、大堀晴津子
12月17日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メシアター・シネマ in 2010 「三つ数えろ」	1946年アメリカ映画(モノクロ・字幕版) 監督：ハワード・ホークス 出演：ハンフリー・ボガート ほか
12月26日 (日)	大ホール	メシアター開館25周年記念 「吹田市民の第九2010」 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	283名の公募市民合唱団と関西フィルとの共演。吹田市内中学校の吹奏楽部や合唱部の生徒たちも参加。
平成23年 (2011年) 1月4日(火)	中ホール	人形劇団クラルテ 「11ぴきのねことあほうどり」	人気劇団・人形劇団クラルテによる親子で楽しめる人形劇。人気作品「11ぴきのねこ」を上演。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
1月5日 (水)	小ホール	メイシアター演劇フェスティバル vol.24 MMT こどもミュージカル	「雫の旅立ち」 作・演出：三原満里
1月7日 (金)	中ホール 小ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 冬休み子どもプログラム 「狂言と糸あやつり人形劇」	中ホールでは茂山狂言会と狂言ワークショップ、小ホールでは糸あやつり人形劇団みのむしによる人形劇。
1月14日 (金)	中ホール	初笑い桂枝雀一門会	おなじみの桂枝雀一門の面々による落語会。 出演／桂南光、桂雀々、桂九雀ほか。
1月21日(金) 22日(土)	中ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 ダンスエンタテインメント 「ダンスオペラ KAGUYA」	ストリートダンスを中心に芝居、音楽を融合させた「ダンスオペラ」。オーディションで選ばれた市民とプロが共演。
1月21日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「人生とんぼ返り」	1955年日活 監督：マキノ雅弘 出演：森繁久彌、山田五十鈴ほか
1月27日(木) 28日(金)	小ホール	メイシアター演劇フェスティバル vol.24 新舞台「朗読沾」	「冬の王 VS ヴィヨンの妻 －森鷗外 VS 太宰治－」 演出：花むらてん
2月4日(金) 5日(土)	小ホール	メイシアター演劇フェスティバル vol.24 劇団吹田市民劇場おむすび座	「第33回公演 親の顔が見たい」 作：畑澤聖悟 演出：齋藤誠
2月5日 (土)	大ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 「ハワイアンフェスティバル 2011」	ハワイの一流ダンサー、ミュージシャンの来日公演。関西のフラ教室からも多数参加したフェスティバル。
2月12日 (土)	小ホール	アラウンド・ザ・ワールドinクラシック 2010 「ピアノ弾き語りとアカペラアンサンブル で楽しむ世界のうた」	世界で歌い継がれる「愛の歌」を、ソプラノのピアノ弾き語りで綴る。 出演：松本亜紀子、アンサンブル下新庄
2月18日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「汚名」	1946年アメリカ映画(モノクロ・字幕版) 監督：アルフレッド・ヒッチコック 出演：イングリッド・バーグマンほか
2月19日 (土)	小ホール	メイ・ホームグラウンドシアター VOL.25 「岸部眞明フィンガースタイル」	吹田市在住のギタリスト岸部眞明が、世界コンテストでも入賞した超絶ギター・テクニックを披露。
2月25日(金) ～27日(日)	中ホール	関西俳優協議会後継者育成事業 「骨よ笑え」	文化庁芸術団体人材育成支援事業。関西で唯一プロの俳優が組織する創造団体・関西俳優協議会の合同公演。演出：田中弘史
3月12日(土) 13日(日)	中ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 メイシアター・千里金蘭大学・全児演共同制作 ファミリーミュージカル 「吹田若竹物語」	千里金蘭大学、全児演との共同制作による創作ミュージカル。大学生やオーディションにより選ばれた市民が参加。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
3月15日 (火)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート ～オペラ・アリアと日本歌曲の夕べ～	関西歌劇団準団員として研修中の新進オペラ歌手14名による声楽コンサート。
3月18日 (金)	小ホール	名作映画劇場 メイシアター・シネマ in 2010 「太陽の季節」	1956年日活 監督：古川卓巳 出演：南田洋子、長門裕之 ほか
3月24日 (木)	小ホール	実験劇場パート28 夜の劇場14 PUPPET THEATER 「糸あやつり人形劇団みのむし&JIJO」	大人が楽しむための人形劇シリーズ。 「みのむし/JIJOのショートショート」 「ミニミニマリオネットシアター」
3月25日 (金)	小ホール	日本の美しい言葉と美しいメロディーを歌い継ぐ 日本の歌百選 第4回	ソプラノ、テノール、ピアノの演奏による 日本の童謡や唱歌のコンサート。 出演：田邊織恵、橋本恵史、小林峯介
3月26日(土) 27日(日)	中ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 DIVE×メイシアター合同プロデュース SHOW 劇場 VOL.5 「オダサク、わが友」	織田作之助を題材に北村想が書き下ろした 新作を劇団桃園会主宰の深津篤史が演出。 企画協力：大阪現代舞台芸術協会 (DIVE)
不定期	事務所	舞台技術相談会	メイシアターなどで文化活動をする市民の ために、舞台・音響・照明などについてメイシアターの技術スタッフがアドバイス。
各月2回	リハーサル室	サポーター事業 「メイ竹踊りチーム」	吹田の名物・竹を用いた踊りの指導から発表を通じて、メイシアターのサポート・チームを結成。
不定期	市役所ロビー	市役所にぎわいライブ	出演者を公募し、市役所ロビーを発表の場に提供。
—	—	メイシアター開館25周年記念 開館25周年記念誌	これまでの5年間の歩みと次のステップに向けての「開館25周年記念誌」を発行。

2. 市民が芸術文化に親しむ機会を促進し、文化会館の活性化につなげるため、メイシアター・メイト(友の会)の会員組織の拡充を図り、メイシアター・メイト対象事業を実施いたしました。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
平成22年 (2010年) 8月19日(木)	大ホール	メイシアター開館25周年記念 メイシアター・メイトのつどい 関西フィルハーモニー管弦楽団 「公開リハーサル」	メイシアター・メイトを対象に、藤岡幸夫指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団のリハーサル風景を公開。
平成23年 (2011年) 1月8日(土)	大ホール	メイシアター開館25周年記念 メイシアター・メイトのつどい 映画「ショパン 別れの曲」	メイシアター・メイト対象の無料映画鑑賞会。ショパンの若き日の愛と苦悩を描いた1934年公開のドイツ映画。

3. 民間団体等との連携を深め地域に密着した文化活動を展開するため、出張公演を行うなど民間団体等との共同・連携事業を実施しました。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
平成 22 年 (2010 年) 6 月 12 日(土)	大ホール	吹田母子会創立 60 周年・メイシアター開館 25 周年記念 「天童よしみコンサート」	さまざまな分野で地域に貢献している吹田母子会との共同事業。幅広い層に人気の演歌歌手・天童よしみのコンサート。
7 月 17 日 (土)	帝国ホテル 大阪	吹田市医師会夏季懇談会イベント ～魅惑のジャズナンバー～	吹田市医師会からの受託事業。関西を中心に活躍するジャズピアノ奏者フィリップ・ストレンジャーらのトリオによるライブ。
11 月 7 日 (日)	スキュルチュ ール江坂 ／ル・ジャ ルダン	第 6 回スキュルチュール江坂/ ル・ジャルダン ロビーコンサート	美術館・スキュルチュール江坂とレストラン・ル・ジャルダンでのコンサート。ジャズ・ピアニストの藤井貞康による演奏。
平成 23 年 (2011 年) 1 月 15 日(土)	リーガ ロイヤル ホテル	吹田市医師会新春懇談会イベント ～新春を彩る弦楽四重奏～	吹田市医師会からの受託事業。NPO 法人室内合奏団 THE STRINGS が演奏する室内楽の名曲の数々。

4. 市民に優れた舞台芸術を提供する吹田市民劇場、才能ある芸術家の発掘・育成等を目的とするコンクール事業を始め、市民の芸術文化の振興に寄与するため、行政等と連携して事業を実施しました。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
平成 22 年 (2010 年) 4 月 4 日(日)	大ホール	吹田市制施行 70 周年・メイシアター開館 25 周年記念 吹田市制施行 70 周年記念 「お祝いコンサート」	吹田市制施行 70 周年記念式典のイベント。吹田市在住の音楽家やオーディションで選ばれた子どもたちが出演。 (政策推進室)
4 月 10 日(土) ～12 日(月)	旧西尾家 住宅	吹田市制施行 70 周年記念 「旧西尾家住宅 (吹田文化創造交流館) 重要文化財指定記念式典&イベント」	祝賀能、講演会、弦楽四重奏演奏会や吹田市文化団体協議会による演奏、朗読など。 (博物館)
7 月 4 日 (日)	大ホール	吹田市制施行 70 周年・メイシアター開館 25 周年記念 第 147 回吹田市民劇場 関西フィルハーモニー管弦楽団 「七夕コンサート 2010」	藤岡幸夫指揮・関西フィルと吹田音楽コンクール 1 位受賞者との共演によるリスト「ピアノ協奏曲第 2 番」など。 (文化のまちづくり室)
7 月 10 日 (土)	大ホール 中ホール	吹田市制施行 70 周年記念 第 41 回記念吹田まつり 「2010 ハートフルコンサートの夕べ」 「市民ふれあいフェスティバル」	吹田まつりの一環として開催。演歌歌手・伍代夏子の「ハートフルコンサート」と市民ステージ「ふれあいフェスティバル」。 (吹田まつり実行委員会)
8 月 3 日 (火)	中ホール	戦後 65 周年・吹田市制施行 70 周年記念 市民平和のつどい 2010 夏休みこども劇場 「劇団赤鬼」	子ども対象の無料演劇公演。親子の絆をテーマにした作品「FOR LIFE!」を上演。 (青少年室)
8 月 6 日 (金)	中ホール	戦後 65 周年・吹田市制施行 70 周年記念 市民平和のつどい 2010 「奄美の唄コンサート」	奄美諸島の民謡の魅力を文化的背景と併せて紹介。 出演：小林成芳、萩原きよみほか (人権平和室)
8 月 7 日 (土)	大ホール	吹田市制施行 70 周年・メイシアター開館 25 周年記念 市民平和のつどい 2010 「秋川雅史コンサートツアー ～第 4 楽章～」	幅広い世代に人気のテノール歌手・秋川雅史が、代表曲「千の風になって」などを歌う。 (文化のまちづくり室)

事業日	場 所	事 業 名	内 容
9月23日 (木)	大ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 第148回吹田市民劇場 「すいた薪能」	大蔵流狂言「末広がり」 観世流能「土蜘蛛」 出演/味方玄、茂山あきらほか (文化のまちづくり室)
9月30日 (木)	旧西尾家 住宅	平成22年度米寿をお祝いする会	米寿を迎えた市民を旧西尾家住宅に招待、 弦楽五重奏の演奏や呈茶などで祝う。 演奏：旧西尾家住宅スペシャル室内合奏団 (高齢生きがい課)
10月5日 (火)	旧中西家 住宅	平成22年度長寿祝賀事業	市内の100歳以上の高齢者を旧中西家住宅 (吹田吉志部文人墨客迎賓館)に招待、呈 茶や記念品贈呈などで祝う。 (高齢生きがい課)
10月6日(水) ～10日(日)	浜屋敷	吹田市制施行70周年記念 街かどアートのまちづくり 彫刻コンクール	若手彫刻家を対象に全国から作品を公募。 大賞作品は吹田市内に設置。 審査会：10月5日(火) 設置：3月26日(土) (文化のまちづくり室)
11月21日 (日)	旧西尾家 住宅	吹田市制施行70周年記念 平成22年度秋のつどい	市内各地域から選出された「地域の力持ち (功労者)」を称え表彰するとともに、野点 やヴァイオリンとピアノの演奏会を開催。 (文化のまちづくり室)
12月18日 (土)	大ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 「すいたティーンズクラシックフェスティバル」	吹田市内の十代の青少年を対象にしたクラ シック音楽のコンクールとゲストの演奏。 予選：10月10日(日) (文化のまちづくり室)
12月23日 (木)	大ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 第149回吹田市民劇場 坂田おさむ 歌のおにいさんデビュー25周年記念 「Xmas ファミリーコンサート」	子ども番組で人気の坂田おさむが現代の童 謡を歌う、親子で楽しむコンサート。 共演：佐藤弘道、神崎ゆう子ほか。 (文化のまちづくり室)
12月24日 (金)	—	吹田市制施行70周年記念 第2回すいた短詩コンクール	短歌、俳句、川柳のコンクール。応募総数 568点の中から市長賞、審査員特別賞、奨励 賞、産経新聞社賞を選考。 (文化のまちづくり室)
平成23年 (2011年) 2月4日(金) ～6日(日)	展示室	吹田市制施行70周年記念 第2回すいた短詩コンクール 作品展示会	市民から公募した短歌84首、川柳192句、 俳句292句、全568点を展示発表。 (文化のまちづくり室)
2月11日 (金)	大ホール	吹田市制施行70周年・メイシアター開館25周年記念 NHK公開録画 「それいけ！民謡うたまつり」	伝統的な民謡と郷土芸能で日本の伝統音楽 を再発見する番組の公開録画コンサート。 地元出演：山田権六踊保存会ほか (政策推進室)

() 内は受託元

5. 市民の芸術文化活動の振興のため、ホール利用者に舞台装置、舞台音響、舞台照明などの技術援助指導や広報協力を行いました。また、市役所でのロビーコンサートなどに技術協力いたしました。
とくに下記の事業に協力いたしました。

事業日	場 所	事 業 名	内 容
平成 22 年 (2010 年) 12 月 21 日(火)	市庁舎 ロビー	市庁舎ロビーコンサート 「クリスマスコンサート」	吹田市庁舎のロビーを利用したコンサート。リコーダー、キーボード、パーカッションの演奏会。 主催：生涯学習課
平成 23 年 (2011 年) 1 月 4 日(火)	市庁舎 ロビー	市庁舎ロビーコンサート 「新春コンサート」	吹田市庁舎のロビーを利用したコンサート。吹田市三曲協会による新春を彩る邦楽の演奏会。 主催：生涯学習課
3 月 28 日 (月)	小ホール	悲惨なハルピン脱出 戦中戦後を聴く	俳優・宝田明が戦中戦後を通して中国東北部ハルピンで遭遇した貴重な体験を語る。 主催：〈悲惨なハルピン脱出〉戦中戦後を聴く会

6. 文化に関する情報を市民に提供するため、ホームページでの文化情報発信に努めるとともに、情報紙「メイシアターインフォメーション」(4月、7月、10月、1月は「メイシアター・プレス」)を発行し、紙面の充実にも努めました。

7. 文化会館の管理運営を指定管理者として吹田市より受任し、使用申請受付及び使用料の徴収事務を行うとともに、会館の良好な維持管理に努めました。

施設管理事業につきましては、公の施設として、吹田市文化会館条例、同施行規則及び管理運営に関する基本協定書等を遵守し、利用者の公平・適正な利用に努めました。また、利用者に対し、常に最善の環境を提供できるよう施設・機器の保守管理、安全管理や個人情報保護に取り組みました。

とくに平成 22 年度は以下の取組みを行いました。

(1) リスク管理への取組み

- ◇ 「プライバシーマーク」の認証取得(第 20000095 号)に基づいた個人情報保護マネジメントシステムに取り組みました。
- ◇ 「防火優良認定証」の認証取得に基づいた防火管理体制の整備や消防訓練、救命救急講習に取り組みました。
- ◇ 停電時の防災設備稼働に備え、非常用発電装置の分解整備補修を行いました。

(2) 情報公開への取組み

- ◇ メイシアターホームページで主要規程や事業計画・事業報告及び予算書・決算書などを公開するとともに、公益法人情報公開サイトで事業計画・事業報告及び予算書・決算書などを公開しました。

(3) 市民サービス向上への取組み

- ◇ よりよい運営に生かすため「利用者会議」を開いて施設利用者からの意見や要望などを集約しました。
- ◇ 共用トイレの一部個室に手すりを設置しました。
- ◇ 大ホール女子トイレの一部を洋式化しました。
- ◇ 受動喫煙防止対策推進のため、諸室の全室禁煙を実施しました。

(4) 環境負荷軽減への取組み

- ◇ 「エコアクション 21」の認証取得(0001591)に基づいた環境経営マネジメントに取り組み、光熱水量の削減、一般廃棄物の削減、グリーン商品・エコマーク商品の優先購入などに努めました。

(5) 管理コスト削減への取組み

- ◇ 警備業務の入札執行により経費を削減しました。
- ◇ 施設管理コンピューターのシステム更新延長により新規リース料を削減しました。

◇ 電気使用量の抑制を図るため、デマンド管理の徹底に取り組みました。

(6) 公益法人制度改革への取り組み

◇ 平成20年12月1日の公益法人制度改革関連法施行こともない、「公益法人制度改革検討委員会」を立ち上げ公益財団法人移行認定に取り組みました。

貸借対照表

平成23年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
小口現金	325,073	348,758	△ 23,685
現金	307,285	1,468,030	△ 1,160,745
普通預金(出納用)	40,283,923	38,534,388	1,749,535
普通預金(利息用)	3,272,031	3,271,087	944
未収金	5,607,481	10,229,705	△ 4,622,224
前払金	588,515	909,029	△ 320,514
立替金	133,764	0	133,764
流動資産合計	50,518,072	54,760,997	△ 4,242,925
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	190,000,000	190,000,000	0
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	28,469,750	28,459,750	10,000
文化事業積立資産	18,000,000	18,000,000	0
特定資産合計	46,469,750	46,459,750	10,000
(3) その他の固定資産			
什器備品	87,330	126,385	△ 39,055
その他の固定資産合計	87,330	126,385	△ 39,055
固定資産合計	246,557,080	246,586,135	△ 29,055
資 産 合 計	297,075,152	301,347,132	△ 4,271,980
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	24,309,856	15,751,421	8,558,435
前受金	899,930	1,713,490	△ 813,560
預り金	4,827,241	9,736,440	△ 4,909,199
賞与引当金	9,407,139	9,502,340	△ 95,201
流動負債合計	39,444,166	36,703,691	2,740,475
2 固定負債			
退職給付引当金	64,836,520	53,988,596	10,847,924
固定負債合計	64,836,520	53,988,596	10,847,924
負 債 合 計	104,280,686	90,692,287	13,588,399
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	△ 7,205,534	10,654,845	△ 17,860,379
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(18,000,000)	(18,000,000)	(0)
正味財産 合計	192,794,466	210,654,845	△ 17,860,379
負債及び正味財産 合計	297,075,152	301,347,132	△ 4,271,980

正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,141,646	1,192,012	△ 50,366
01 基本財産受取利息	1,141,646	1,192,012	△ 50,366
② 事業収益	463,140,795	465,892,136	△ 2,751,341
01 施設管理事業収益	355,851,387	356,140,303	△ 288,916
02 受託事業収益	35,576,294	38,960,390	△ 3,384,096
03 入場券販売収益	31,475,100	34,920,660	△ 3,445,560
04 レストラン業務収益	20,710,296	21,004,004	△ 293,708
05 友の会会費収益	2,061,600	2,179,500	△ 117,900
06 サービス事業収益	864,060	769,374	94,686
07 物品販売収益	2,008,278	1,732,109	276,169
08 手数料収益	3,650,414	3,891,091	△ 240,677
09 広告料収益	1,450,000	2,055,000	△ 605,000
10 負担金収益	9,493,366	4,239,705	5,253,661
③ 受取補助金等	3,400,000	7,120,294	△ 3,720,294
01 文化事業助成金収益	3,400,000	7,120,294	△ 3,720,294
④ 雑収益	14,341	67,533	△ 53,192
01 受取利息	6,279	8,849	△ 2,570
02 雑収益	8,062	58,684	△ 50,622
⑤ 引当金取崩額	0	9,225,000	△ 9,225,000
01 退職給付引当金取崩額	0	9,225,000	△ 9,225,000
経常収益計	467,696,782	483,496,975	△ 15,800,193
(2) 経常費用			
① 自主事業費	82,196,046	81,943,797	252,249
04 賃金	6,467,233	5,721,475	745,758
05 福利厚生費	759,189	617,639	141,550
06 会議費	40,615	28,753	11,862
07 旅費	92,620	371,630	△ 279,010
08 交際費	16,450	9,735	6,715
09 通信運搬費	2,788,937	2,934,848	△ 145,911
10 什器備品費	64,979	0	64,979
11 消耗品費	1,429,484	1,521,733	△ 92,249
12 交通費	62,624	86,214	△ 23,590
13 修繕費	279,098	172,620	106,478
14 印刷製本費	5,658,166	5,257,309	400,857
16 賃借料	13,747,396	19,856,232	△ 6,108,836
17 保険料	32,220	37,000	△ 4,780
18 諸謝金	2,796,298	3,853,819	△ 1,057,521
19 手数料	1,037,139	1,119,529	△ 82,390
20 租税公課	48,100	106,900	△ 58,800
21 著作権料	531,425	274,833	256,592
22 負担金	100,500	96,500	4,000
23 委託費	45,077,364	38,356,905	6,720,459
24 広告宣伝費	771,750	1,002,248	△ 230,498
25 公演賄費	332,004	458,320	△ 126,316
28 減価償却費	39,055	39,055	0
30 雑費	23,400	20,500	2,900

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 施設管理事業費	346,339,047	346,100,202	238,845
02 給料手当	111,864,582	109,556,144	2,308,438
03 退職給付	0	8,083,000	△ 8,083,000
04 賃金	1,869,026	1,150,337	718,689
05 福利厚生費	19,319,403	17,405,643	1,913,760
07 旅費	76,540	70,940	5,600
09 通信運搬費	448,003	478,142	△ 30,139
11 消耗品費	4,052,171	4,031,070	21,101
13 修繕費	24,677,648	15,248,594	9,429,054
14 印刷製本費	1,036,595	1,004,675	31,920
15 光熱水料費	60,640,662	54,548,891	6,091,771
16 賃借料	5,057,057	5,153,481	△ 96,424
17 保険料	204,520	204,520	0
19 手数料	154,775	154,775	0
20 租税公課	7,364,200	7,519,800	△ 155,600
22 負担金	92,300	89,300	3,000
23 委託費	104,396,795	113,127,740	△ 8,730,945
24 広告宣伝費	0	0	0
26 報酬	5,084,770	8,273,150	△ 3,188,380
③ 受託事業費	35,576,294	38,960,390	△ 3,384,096
04 賃金	74,057	169,744	△ 95,687
05 福利厚生費	219	529	△ 310
06 会議費	0	34,800	△ 34,800
07 旅費	1,640	217,560	△ 215,920
09 通信運搬費	153,736	486,730	△ 332,994
11 消耗品費	1,219,387	1,088,642	130,745
12 交通費	9,900	0	9,900
14 印刷製本費	1,003,500	1,144,122	△ 140,622
16 賃借料	1,327,280	1,092,800	234,480
17 保険料	1,000	0	1,000
18 諸謝金	5,416,375	2,926,935	2,489,440
19 手数料	1,083,620	1,846,670	△ 763,050
20 租税公課	46,000	45,000	1,000
21 著作権料	195,757	340,448	△ 144,691
23 委託費	24,681,034	28,920,362	△ 4,239,328
24 広告宣伝費	150,000	431,000	△ 281,000
25 公演賄費	212,789	215,048	△ 2,259
④ 管理費	1,190,711	2,673,113	△ 1,482,402
01 役員報酬	394,800	411,600	△ 16,800
03 退職給付	0	1,142,000	△ 1,142,000
06 会議費	8,170	23,378	△ 15,208
07 旅費	9,840	5,300	4,540
08 交際費	1,050	5,000	△ 3,950
09 通信運搬費	40,600	23,210	17,390
11 消耗品費	114,476	153,080	△ 38,604
17 保険料	25,000	25,000	0
18 諸謝金	157,500	157,500	0
19 手数料	222,075	99,945	122,130
20 租税公課	72,000	483,400	△ 411,400
22 負担金	105,200	103,700	1,500
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
⑤ 引当金繰入額	20,255,063	19,248,282	1,006,781
退職給付引当金繰入額	10,847,924	9,745,942	1,101,982
賞与引当金繰入額	9,407,139	9,502,340	△ 95,201
経常費用計	485,557,161	488,925,784	△ 3,368,623
当期経常増減額	△ 17,860,379	△ 5,428,809	△ 12,431,570

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 17,860,379	△ 5,428,809	△ 12,431,570
一般正味財産期首残高	10,654,845	16,083,654	△ 5,428,809
一般正味財産期末残高	△ 7,205,534	10,654,845	△ 17,860,379
Ⅲ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
Ⅳ 正味財産期末残高	192,794,466	210,654,845	△ 17,860,379

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
小口現金	325,073	
現金	307,285	
普通預金 りそな銀行吹田支店(出納用)	40,283,923	
普通預金 りそな銀行吹田支店	3,272,031	
未収金 メインアター・プレス広告料等	5,607,481	
前払金 切手・印紙等	588,515	
立替金	133,764	
流動資産合計		50,518,072
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券(10年国債)	100,000,000	
投資有価証券(5年国債)	90,000,000	
定期貯金 ゆうちょ銀行	10,000,000	
基本財産合計	200,000,000	
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
普通預金 りそな銀行吹田支店	28,469,750	
文化事業積立資産		
普通預金 摂津水都信用金庫吹田支店	18,000,000	
特定資産合計	46,469,750	
(3) その他の固定資産		
什器備品		
(液晶ビデオ映写機等)	87,330	
その他の固定資産合計	87,330	
固定資産合計		246,557,080
資産合計		297,075,152
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金 電気料金3月分等	24,309,856	
前受金 平成23年度友の会会費収入等	899,930	
預り金 舞台人件費預り金等	4,827,241	
賞与引当金	9,407,139	
流動負債合計		39,444,166
2 固定負債		
退職給付引当金	64,836,520	
固定負債合計		64,836,520
負債合計		104,280,686
正味財産		192,794,466

財務諸表に対する注記

平成23年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券の評価基準は取得原価法であり、評価方法は移動平均法による原価法で行っている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(3) 固定資産の減価償却

什器備品……………定額法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算し、会計基準変更時差異(72,915,420円)は15年で費用処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期貯金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券	190,000,000	0	0	190,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	28,459,750	10,000	0	28,469,750
文化事業積立資産	18,000,000	0	0	18,000,000
小 計	46,459,750	10,000	0	46,469,750
合 計	246,459,750	10,000	0	246,469,750

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期貯金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
投資有価証券	190,000,000	(190,000,000)	(0)	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	28,469,750	(0)	(0)	(28,469,750)
文化事業積立資産	18,000,000	(0)	(18,000,000)	(0)
小 計	46,469,750	(0)	(18,000,000)	(28,469,750)
合 計	246,469,750	(200,000,000)	(18,000,000)	(28,469,750)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	1,355,500	1,268,170	87,330
合 計	1,355,500	1,268,170	87,330

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

項 目	金 額
退職給付債務	△ 113,446,800
会計基準変更時差異の未処理額	48,610,280
退職給付引当金 (合計)	△ 64,836,520

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

項 目	金 額
勤務費用	5,986,896
会計基準変更時差異の費用処理額	4,861,028
退職給付費用 (合計)	10,847,924

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに原価、時価及び評価損益

(単位:円)

科 目	原価	時価	評価益
国 債			
第248回 10年国債	100,000,000	100,990,000	990,000
第 88回 5年国債	90,000,000	90,369,000	369,000
合 計	190,000,000	191,359,000	1,359,000

*時価は3月31日現在、売買参考統計値

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期増加額	当期減少額	当期末残高
地域の文化・芸術活動支援事業 助成金	(財)地域創造	2,200,000	2,200,000	0
芸術文化振興基金助成金	独立行政法人 日本芸術文化振興会	1,200,000	1,200,000	0
合 計		3,400,000	3,400,000	0

*貸借対照表上の記載区分は一般正味財産に計上している。

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

11. 重要な後発事象

該当なし。

収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
11 基本財産運用収入	1,193,000	1,141,646	51,354	
01 基本財産利息収入	1,193,000	1,141,646	51,354	
12 事業収入	467,282,000	463,140,795	4,141,205	
01 施設管理事業収入	355,919,000	355,851,387	67,613	
02 受託事業収入	37,729,000	35,576,294	2,152,706	
03 入場券販売収入	31,842,000	31,475,100	366,900	
04 レストラン業務収入	21,650,000	20,710,296	939,704	
05 友の会会費収入	2,580,000	2,061,600	518,400	
06 サービス事業収入	596,000	864,060	△ 268,060	
07 物品販売収入	1,825,000	2,008,278	△ 183,278	
08 手数料収入	3,917,000	3,650,414	266,586	
09 広告料収入	1,300,000	1,450,000	△ 150,000	
10 負担金収入	9,924,000	9,493,366	430,634	
13 補助金等収入	1,000	3,400,000	△ 3,399,000	
01 文化事業助成金収入	1,000	3,400,000	△ 3,399,000	
15 雑収入	9,000	14,341	△ 5,341	
01 受取利息収入	8,000	6,279	1,721	
02 雑収入	1,000	8,062	△ 7,062	
事業活動収入計	468,485,000	467,696,782	788,218	
2. 事業活動支出				
21 自主事業費支出	95,200,000	82,156,991	13,043,009	
04 貸金支出	6,467,233	6,467,233	0	(注1)(注2)
05 福利厚生費支出	759,189	759,189	0	(注1)(注2)
06 会議費支出	42,000	40,615	1,385	
07 旅費支出	279,000	92,620	186,380	
08 交際費支出	38,000	16,450	21,550	
09 通信運搬費支出	3,364,000	2,788,937	575,063	
10 什器備品費支出	300,000	64,979	235,021	
11 消耗品費支出	1,777,000	1,429,484	347,516	
12 交通費支出	198,000	62,624	135,376	
13 修繕費支出	440,000	279,098	160,902	
14 印刷製本費支出	9,133,000	5,658,166	3,474,834	
16 賃借料支出	18,848,486	13,747,396	5,101,090	(注2)
17 保険料支出	36,000	32,220	3,780	
18 諸謝金支出	3,692,000	2,796,298	895,702	
19 手数料支出	1,037,139	1,037,139	0	(注2)
20 租税公課支出	101,000	48,100	52,900	
21 著作権料支出	531,425	531,425	0	(注2)
22 負担金支出	217,000	100,500	116,500	
23 委託費支出	45,641,128	45,077,364	563,764	(注1)
24 広告宣伝費支出	1,662,000	771,750	890,250	
25 公演賄費支出	613,000	332,004	280,996	
30 雑費支出	23,400	23,400	0	(注1)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
22 施設管理事業費支出	355,909,000	355,841,387	67,613	
02 給料手当支出	121,375,700	121,366,922	8,778	(注4)
03 退職手当支出	1,000	0	1,000	
04 賃金支出	1,869,026	1,869,026	0	(注3)
05 福利厚生費支出	19,319,403	19,319,403	0	(注3)
07 旅費支出	76,540	76,540	0	(注3)
09 通信運搬費支出	448,003	448,003	0	(注3)
11 消耗品費支出	4,055,000	4,052,171	2,829	(注4)
13 修繕費支出	24,677,648	24,677,648	0	(注4)
14 印刷製本費支出	1,036,595	1,036,595	0	(注3)
15 光熱水料費支出	60,649,000	60,640,662	8,338	(注4)
16 賃借料支出	5,057,057	5,057,057	0	(注3)
17 保険料支出	205,000	204,520	480	
19 手数料支出	156,000	154,775	1,225	
20 租税公課支出	7,372,000	7,364,200	7,800	(注4)
22 負担金支出	92,300	92,300	0	(注3)
23 委託費支出	104,401,076	104,396,795	4,281	(注3)(注4)
24 広告宣伝費支出	32,652	0	32,652	(注4)
26 報酬支出	5,085,000	5,084,770	230	
23 受託事業費支出	37,729,000	35,576,294	2,152,706	
04 賃金支出	296,000	74,057	221,943	
05 福利厚生費支出	8,000	219	7,781	
06 会議費支出	110,000	0	110,000	
07 旅費支出	50,000	1,640	48,360	
09 通信運搬費支出	393,000	153,736	239,264	
11 消耗品費支出	1,219,387	1,219,387	0	(注5)
12 交通費支出	10,000	9,900	100	
14 印刷製本費支出	1,137,000	1,003,500	133,500	
16 賃借料支出	1,347,000	1,327,280	19,720	
17 保険料支出	10,000	1,000	9,000	
18 諸謝金支出	5,416,375	5,416,375	0	(注5)
19 手数料支出	1,404,000	1,083,620	320,380	
20 租税公課支出	68,000	46,000	22,000	
21 著作権料支出	527,000	195,757	331,243	
23 委託費支出	25,065,238	24,681,034	384,204	(注5)
24 広告宣伝費支出	290,000	150,000	140,000	
25 公演費支出	372,000	212,789	159,211	
30 雑費支出	6,000	0	6,000	
24 管理費支出	2,700,000	1,190,711	1,509,289	
01 役員報酬支出	773,000	394,800	378,200	
05 福利厚生費支出	30,000	0	30,000	
06 会議費支出	32,000	8,170	23,830	
07 旅費支出	94,925	9,840	85,085	(注6)
08 交際費支出	11,000	1,050	9,950	
09 通信運搬費支出	76,000	40,600	35,400	
11 消耗品費支出	242,000	114,476	127,524	
12 交通費支出	10,000	0	10,000	
14 印刷製本費支出	110,000	0	110,000	
17 保険料支出	26,000	25,000	1,000	
18 諸謝金支出	158,000	157,500	500	
19 手数料支出	222,075	222,075	0	(注6)
20 租税公課支出	575,000	72,000	503,000	
22 負担金支出	298,000	105,200	192,800	
24 広告宣伝費支出	42,000	40,000	2,000	
事業活動支出計	491,538,000	474,765,383	16,772,617	
事業活動収支差額	△ 23,053,000	△ 7,068,601	△ 15,984,399	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
18 特定資産取崩収入	0	0	0	
01 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
26 特定資産取得支出	10,000	10,000	0	
01 退職給付引当資産取得支出	10,000	10,000	0	
投資活動支出計	10,000	10,000	0	
投資活動収支差額	△ 10,000	△ 10,000	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	6,937,000	0	6,937,000	
当期収支差額	△ 30,000,000	△ 7,078,601	△ 22,921,399	
前期繰越収支差額	30,000,000	27,559,646	2,440,354	
次期繰越収支差額	0	20,481,045	△ 20,481,045	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、預貯金、未収金、前払金、仮払金、立替金及び未払金、前受金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	期末残高
現金	1,816,788	632,358
預金	41,805,475	43,555,954
未収金	10,229,705	5,607,481
前払金	909,029	588,515
立替金	0	133,764
合 計	54,760,997	50,518,072
未払金	15,751,421	24,309,856
前受金	1,713,490	899,930
預り金	9,736,440	4,827,241
合 計	27,201,351	30,037,027
次期繰越収支差額	27,559,646	20,481,045

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

予算科目のうち、自主事業費支出-委託費支出より、2,085,872円を以下のとおり流用した。(注1)

(単位:円)

科 目	流用前予算額	科目間流用	流用後予算額
自主事業費支出-賃金支出	4,240,000	1,679,881	5,919,881
自主事業費支出-福利厚生費支出	245,000	386,591	631,591
自主事業費支出-雑費支出	4,000	19,400	23,400
自主事業費支出-委託費支出	47,727,000	-2,085,872	45,641,128

予算科目のうち、自主事業費支出-賃借料支出より、740,514円を以下のとおり流用した。(注2)

(単位:円)

科 目	流用前予算額	科目間流用	流用後予算額
自主事業費支出-賃金支出	5,919,881	547,352	6,467,233
自主事業費支出-福利厚生費支出	631,591	127,598	759,189
自主事業費支出-手数料支出	1,027,000	10,139	1,037,139
自主事業費支出-著作料支出	476,000	55,425	531,425
自主事業費支出-賃借料支出	19,589,000	-740,514	18,848,486

予算科目のうち、施設管理事業費支出-委託費支出より、275,924円を以下のとおり流用した。(注3)

(単位:円)

科 目	流用前予算額	科目間流用	流用後予算額
施設管理事業費支出-賃金支出	1,865,000	4,026	1,869,026
施設管理事業費支出-福利厚生費支出	19,214,000	105,403	19,319,403
施設管理事業費支出-旅費支出	25,000	51,540	76,540
施設管理事業費支出-通信運搬費支出	444,000	4,003	448,003
施設管理事業費支出-印刷製本費支出	943,000	93,595	1,036,595
施設管理事業費支出-賃借料支出	5,050,000	7,057	5,057,057
施設管理事業費支出-負担金支出	82,000	10,300	92,300
施設管理事業費支出-委託費支出	109,727,000	-275,924	109,451,076

予算科目のうち、施設管理事業費支出-修繕費支出へ、9,156,648円を以下のとおり流用した。(注4)

(単位:円)

科 目	流用前予算額	科目間流用	流用後予算額
施設管理事業費支出-修繕費支出	15,521,000	9,156,648	24,677,648
施設管理事業費支出-給料手当支出	123,125,000	-1,749,300	121,375,700
施設管理事業費支出-消耗品費支出	4,185,000	-130,000	4,055,000
施設管理事業費支出-光熱水料費支出	61,919,000	-1,270,000	60,649,000
施設管理事業費支出-租税公課支出	8,302,000	-930,000	7,372,000
施設管理事業費支出-委託費支出	109,451,076	-5,050,000	104,401,076
施設管理事業費支出-広告宣伝費支出	60,000	-27,348	32,652

予算科目のうち、受託事業費支出-委託費支出より、384,762円を以下のとおり流用した。(注5)

(単位:円)

科 目	流用前予算額	科目間流用	流用後予算額
受託事業費支出-消耗品費支出	864,000	355,387	1,219,387
受託事業費支出-諸謝金支出	5,387,000	29,375	5,416,375
受託事業費支出-委託費支出	25,450,000	-384,762	25,065,238

予算科目のうち、管理費支出-旅費支出より、127,075円を以下のとおり流用した。(注6)

(単位:円)

科 目	流用前予算額	科目間流用	流用後予算額
管理費支出-手数料支出	95,000	127,075	222,075
管理費支出-旅費支出	222,000	-127,075	94,925

(2) 予備費の使用
該当なし。

平成 23 年度 事業計画書

I 平成 23 年度事業計画

平成 23 年度は、これまでの四半世紀の実績をいかして新たなスタートを踏み出すとともに、指定管理者として第 2 期目の最終年度にあたり、引き続き指定管理を目指してまいります。

取組みとして、文化会館の設置目的を達成し、吹田市の総合的な文化施策の中での役割を積極的かつ自立的に担い、市民文化・地域文化の創造・発信の拠点として多くの市民が集うにぎわいの場、参画・協働の場を創出するために以下の事業を行います。

1. 市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与するために「市民とともに歩む」を基本理念として、市民参加・協働を見据えながら、長年のプロデュース実績を踏まえた事業を展開します。

市民参加・協働事業の推進、プロデュースによるオリジナル公演の創造・発信、優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供、国際色豊かな文化の普及、地域の文化活動の支援などに努め、市民の創作・表現活動の場と優れた芸術文化に親しむ機会の充実を図ります。

■ 市民参加・協働事業の展開

これまでの市民・文化団体とのつながりや培われたプロデュース能力をいかし、市民参加・協働事業に重点的に取り組みます。

専門家の指導・ワークショップを通じての市民参画、各種団体とのコラボレーション等、様々な形態による事業を実施します。市民の多彩な創作・表現活動や地域の文化活動を支援し、市民の文化振興に寄与します。

■ 大学との連携・協働事業の実施

「大学のあるまち」吹田市の特性や可能性をいかし、市内にある大学と連携・協働して事業を実施します。各大学の特徴をいかして学生のもつ潜在能力やエネルギーを舞台芸術の創造活動に発揮し、若々しく、新しい文化を発信します。

■ 青少年の文化活動の支援・推進

市内の青少年を対象に、クリニックを通じたプロとの共演を企画するなど文化の担い手の育成、地域文化の裾野の拡充を図ります。また、音楽や演劇の分野で広く青少年を参加対象とした大会を支援し発表の場の提供に努めるなど青少年の文化振興に寄与します。

■ 地元アーティストの支援・紹介～「メイ・ホームグラウンドシアター」

吹田市には、多くの優れたアーティストが幅広く活動しています。その中でも今後の活躍が期待される若い才能を発掘・育成し支援するとともに、優れた芸術家を市民に紹介するためにシリーズで実施いたします。

■ 優れた舞台芸術の提供

市民の文化活動の振興を図ることを目的に、低料金にて優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、身近に芸術文化に親しんでいただきます。

■ 地域に息づく文化の掘り起こし

地域にゆかりのある人物や民話を掘り起こして舞台芸術・芸能の創作に取り組み、市民が地域への文化的・歴史的な関心や認識を深め、ひいては地域への誇りと愛着心を培うことに寄与します。

■ プロデュース事業の創造・発信

これまでの豊かなプロデュース経験によって得られた専門的な知識、ネットワークをいかして注目を集めるオリジナル公演を実施、文化会館を文化創造・発信の拠点として全国にアピールします。

■ メイシアター・メイトの拡充

現在、会員数約1,600名の友の会組織「メイシアター・メイト」は、事業団が運営し、主催事業のチケット代割引や館内レストラン飲食料金の割引などの各種特典と「メイシアター・メイトのつどい」として映画会や公開リハーサルなど会員対象の優待事業を実施し、文化会館の利用機会の提供に大いに資してまいりました。今後は低料金での鑑賞機会の提供など対象事業を拡充し、新規会員の獲得を図ります。

■ メイシアター・サポーター・システムの取組み

市民参加・協働事業を推進する中で、各種イベントへ出演して文化会館をアピールするなど会館を支援する市民チーム「メイシアター・サポーター」を構成します。

■ フランチャイズ事業の実施

芸術性の高い舞台芸術を定期的に上演するため、十分な検討の上で名義主催として実施し、フランチャイズ化させるとともに低料金化を図ります。

■ 行政との連携・協働事業の実施

市民に優れた舞台芸術を低料金で提供する「市民劇場」、市内の青少年を対象に創作・表現活動を推進する「コンクール事業」をはじめ、高齢者福祉、人権平和などの行政施策として企画される事業を積極的に受託します。また、吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）や旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）などとの連携を深めて事業展開を行うなど行政との連携・協働を推進します。

■ 企業等との連携・協働事業の実施

市内の企業・団体からの委託を積極的に受け、美術館、レストラン、ホテルなど要望される会場の態様に合わせて各種事業を実施、地元企業・団体との連携を深めながら地域に密着した事業展開を行います。

以上の概要に従い、文化事業につきましては、年間72事業を計画し、市民の多様な文化的欲求に応えるため、特定の公演ジャンルに偏ることなく、以下の分類により事業展開いたします。

- (1) コンサート公演
- (2) ミュージカル公演
- (3) バレエ公演
- (4) 演劇公演
- (5) 古典芸能
- (6) 落語公演
- (7) 民族芸能
- (8) ダンス公演
- (9) 人形劇
- (10) 映画会
- (11) 講演会
- (12) コンクール
- (13) 展示会
- (14) 国際交流文化事業
- (15) その他

2. 多様化し高度化する市民の芸術文化活動を促進し、また、地域の文化振興に寄与するため、長年にわたり培ってきたプロデュース能力や舞台技術の専門知識を市民が主体的に行う貸館事業や地域での公演に還元し、積極的に協力します。
3. 会館の文化情報を定期的に発信するため、「メイシアター・インフォメーション」及び「メイシアター・プレス」を発行します。
また、ホームページの改善に努め、利用者の立場に立った利便性の拡充に努めます。
4. 文化会館の管理運営を指定管理者として吹田市より受任し、会館の効果的・効率的な管理運営に努め、会館のもつ効力を最大限に発揮します。
吹田市文化会館条例、同施行規則及び基本協定書等を遵守し、市民の公平・適正な利用を図るとともに、文化会館の活性化を目指し利用率の向上に努めます。また、利用者に対し、常に最善の環境を提供できるよう施設・機器の保守管理、防災・防犯等の安全管理、効果的な職員研修などに取り組みます。
平成 23 年度はとくに以下の取組みを行います。
 - (1) リスク管理への取組み
 - ◇ 「プライバシーマーク（第 20000095 号）」の認証取得に基づいた個人情報保護マネジメントシステムに取り組みます。
 - ◇ 「防火優良認定証」の認証取得に基づいた防火管理体制の整備、消防訓練・救命救急講習・防火教育の実施、自動火災報知設備の更新など防火管理の充実に取り組むとともに館内セキュリティの向上を図り、安心安全の会館管理に努めます。
 - (2) 情報公開推進への取組み
 - ◇ 経営の透明性を確保するためホームページ等で情報公開の推進に取り組みます。
 - (3) 市民サービス向上への取組み
 - ◇ 利用者の意見・要望を集約し、ニーズや課題を把握・分析してよりよい会館運営につなげます。
 - ◇ 効率的な会館の管理運営に努め、利用者サービスの拡充を図り、新規利用者の拡大、リピーターの確保を目指します。
 - (4) 環境負荷低減・グリーン購入への取組み
 - ◇ 「吹田市役所エコオフィスプラン」に基づき、省エネルギー・省資源、廃棄物抑制・グリーン購入等、環境に配慮した積極的な取組みに努めます。
 - ◇ 「エコアクション 21（0001591）」の認証取得に基づいた環境経営マネジメントに取り組みます。
 - (5) 管理コスト削減への取組み
 - ◇ 引き続き、利用者の利便性を鑑みながら改善計画に沿った経費縮減を図り、効率的な管理運営に取り組みます。
 - (6) 公益法人制度改革への取組み
 - ◇ 平成 20 年 12 月 1 日の公益法人制度改革関連法施行にともない、公益財団法人への移行認定に向けて、平成 23 年度中の申請手続きを進めます。

収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
11 基本財産運用収入	1,140	1,193	△ 53	
01 基本財産利息収入	1,140	1,193	△ 53	
12 事業収入	450,511	470,182	△ 19,671	
01 施設管理事業収入	353,160	362,919	△ 9,759	
02 受託事業収入	29,594	33,629	△ 4,035	
03 入場券販売収入	32,461	31,842	619	
04 レストラン業務収入	21,650	21,650	0	
05 友の会会費収入	2,580	2,580	0	
06 サービス事業収入	759	596	163	
07 物品販売収入	2,017	1,825	192	
08 手数料収入	3,968	3,917	51	
09 広告料収入	1,300	1,300	0	
10 負担金収入	3,022	9,924	△ 6,902	
13 補助金等収入	1	1	0	
01 文化事業助成金収入	1	1	0	
15 雑収入	5	9	△ 4	
01 受取利息収入	4	8	△ 4	
02 雑収入	1	1	0	
事業活動収入計	451,657	471,385	△ 19,728	
2. 事業活動支出				
21 自主事業費支出	84,331	95,200	△ 10,869	
04 賃金支出	4,574	4,240	334	
05 福利厚生費支出	608	245	363	
06 会議費支出	33	42	△ 9	
07 旅費支出	307	279	28	
08 交際費支出	38	38	0	
09 通信運搬費支出	3,262	3,364	△ 102	
10 什器備品費支出	300	300	0	
11 消耗品費支出	1,760	1,777	△ 17	
12 交通費支出	214	198	16	
13 修繕費支出	440	440	0	
14 印刷製本費支出	6,337	9,133	△ 2,796	
16 賃借料支出	16,980	19,589	△ 2,609	
17 保険料支出	36	36	0	
18 諸謝金支出	3,896	3,692	204	
19 手数料支出	1,199	1,027	172	
20 租税公課支出	79	101	△ 22	
21 著作権料支出	304	476	△ 172	
22 負担金支出	217	217	0	
23 委託費支出	41,998	47,727	△ 5,729	
24 広告宣伝費支出	1,306	1,662	△ 356	
25 公演賄費支出	422	613	△ 191	
30 雑費支出	21	4	17	

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
22 施設管理事業費支出	351,684	362,909	△ 11,225	
02 給料手当支出	127,368	126,639	729	
03 退職手当支出	1	1	0	
04 賃金支出	1,598	3,195	△ 1,597	
05 福利厚生費支出	20,862	19,494	1,368	
07 旅費支出	174	195	△ 21	
09 通信運搬費支出	534	534	0	
11 消耗品費支出	4,060	4,185	△ 125	
13 修繕費支出	10,225	10,225	0	
14 印刷製本費支出	1,098	1,093	5	
15 光熱水料費支出	56,288	56,319	△ 31	
16 賃借料支出	6,665	8,850	△ 2,185	
17 保険料支出	205	205	0	
19 手数料支出	206	206	0	
20 租税公課支出	8,302	8,302	0	
22 負担金支出	108	108	0	
23 委託費支出	109,056	114,727	△ 5,671	
24 広告宣伝費支出	60	60	0	
26 報酬支出	4,874	8,571	△ 3,697	
23 受託事業費支出	29,594	33,629	△ 4,035	
04 賃金支出	116	296	△ 180	
05 福利厚生費支出	7	8	△ 1	
06 会議費支出	154	110	44	
07 旅費支出	50	50	0	
09 通信運搬費支出	254	393	△ 139	
11 消耗品費支出	974	568	406	
12 交通費支出	8	6	2	
14 印刷製本費支出	942	1,137	△ 195	
16 賃借料支出	983	823	160	
17 保険料支出	10	10	0	
18 諸謝金支出	1,326	2,111	△ 785	
19 手数料支出	979	1,404	△ 425	
20 租税公課支出	49	68	△ 19	
21 著作権料支出	307	527	△ 220	
23 委託費支出	22,995	25,450	△ 2,455	
24 広告宣伝費支出	240	290	△ 50	
25 公演助費支出	197	372	△ 175	
30 雑費支出	3	6	△ 3	
24 管理費支出	2,629	2,700	△ 71	
01 役員報酬支出	773	773	0	
05 福利厚生費支出	30	30	0	
06 会議費支出	33	32	1	
07 旅費支出	150	222	△ 72	
08 交際費支出	11	11	0	
09 通信運搬費支出	76	76	0	
11 消耗品費支出	242	242	0	
12 交通費支出	10	10	0	
14 印刷製本費支出	110	110	0	
17 保険料支出	26	26	0	
18 諸謝金支出	158	158	0	
19 手数料支出	95	95	0	
20 租税公課支出	575	575	0	
22 負担金支出	298	298	0	
24 広告宣伝費支出	42	42	0	
事業活動支出計	468,238	494,438	△ 26,200	
事業活動収支差額	△ 16,581	△ 23,053	6,472	

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅲ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
18 特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
26 特定資産取得支出	1,476	10	1,466	
01退職給付引当資産取得支出	1,476	10	1,466	
投資活動支出計	1,476	10	1,466	
投資活動収支差額	△ 1,476	△ 10	△ 1,466	
Ⅳ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅴ 予備費支出	6,943	6,937	6	
当期収支差額	△ 25,000	△ 30,000	5,000	
前期繰越収支差額	25,000	30,000	△ 5,000	
次期繰越収支差額	0	0	0	